

Floppy's Phonics Stage 5 'The Playground'

p.1

アニーナが遊びにやって来ました。

「外で遊ぼう」ビフが言いました。「公園まで行こうよ」

「ウ～」

p.2

みんなは公園に着きました。でも遊び場が使えなくなっていたのです。

「ひどいわ」

p.3

回転ジムは故障していました。

おもちゃの家も壊れていました。ブランコにはテープが巻きつけられていました。

p.4

みんなは公園の管理をしている人に会いました。

「危険ですからな」管理人さんは言いました。

「閉鎖しましたよ」

p.5

「直してくださるんですか？」お母さんが聞きました。

「無理ですね」管理人さんは言いました。「1万ポンドはかかるでしょうからなあ」

p.6

みんなはそこでウィルフとウィルマに会いました。

「大変なのよ」ビフが言いました。「公園の遊び場が閉鎖されちゃったの」

「そんなの困るよ！」

p.7

「直すのにすごくお金がかかるんですって」アニーナが言いました。「私たちがなんとかできないかしら？」

「それなんかどう？」

p.8

「1万ポンドいるんだけど…」

「いくらだって？」

…新しい遊び場を作るんだ…

p.9

…みんなに広めて…

「なんだって！そりゃ大金だ」

…訴えよう！」

—みんなの遊び場を守ろう！—

p.10-11

お父さんたちやお母さんたちがアニーナの家に集まりました。

「サマーフェアをしましょうよ」ウィルマのお母さんが言いました。「それでお金を集めるのよ」

「子どもたちに教えてやろう」

「きつとうまくいくわ」

p.12

アニーナのお父さんは街中をまわりました。

メガフォンを持って。

p.13

「サマーフェアに来てください」お父さんは大声で言いました。

「遊び場を守るためにお金が必要なのです」

「叫ばなくても聞こえるわよ」

p.14

たくさんの人がサマーフェアに来てくれました。

p.15

屋台もたくさん出ました。ボーイ・スカウトもガール・スカウトもお店を出しました。

p.16

ぴよんぴよん跳ねるバウンシー・キャッスルもありました。

p.17

ぶかぶかのズボンをはいたピエロもいました。

ピエロの持っている花からは水が吹き出しました。

p.18

アニーナのお父さんはアナウンサーでした。

「空を見てください」お父さんはお客さんに向かって叫びました。

p.19

スカイ・ダイバーが雲の間から現れて、地上に着陸しました。

「やってみたいなあ」ウィルフが言いました。

pp.20-21

「大体1万ポンド集まったぞ」お父さんが言いました。

「じゃあ、あたらしい遊び場ができるのね」アニーナが言いました。

「やった！」

「すごいわ」

p.22

子どもたちは新しい遊び場がすっかり気に入りました。

p.23

でもフロッピーは中に入れませんでした。
犬は立ち入り禁止だったのです。

p.24

「犬のための遊び場ってというのはどう？」

キツパーが言いました。

「子どもは立ち入り禁止ね！」

「そのとおり！」